

障がい福祉施設 専門分野 サービス評価調書

平成27年12月14日

施設名 三光園

委員名 谷口真由美委員、杉山正義委員、杉山仁仕委員

区分	項目	評価			評価者のコメント	施設の対応等
		A	B	C		
IV 2	食事	(1) ① 栄養ケア計画(個別支援計画)に基づいた食事サービス	A		○各利用者ごとに栄養ケア計画が作成され、食事が提供できている。 ○ソフト食の形態について、利用者の要望を基に見直し・検討を重ねて食事に反映できている。	○栄養ケア計画を個別支援計画に記載することで他職種にも周知している。 ○ソフト食やペースト食など利用者の状況に合った食事形態の提供をしている。
		② 利用者の嗜好を考慮した献立、楽しくする工夫	A		○利用者からの要望等に対し、検討会議を開催し、楽しく食べられるよう工夫できている。 ○選択メニュー時だけではなく、日常的に「ふりかけ・飲み物等」が選択できると良い。	○ふりかけやのりの佃煮、調味料などテーブル毎に籠に入れてお出しして利用者が好みで利用していただけるようにしている。
		③ 喫食環境への配慮	B		●食事環境(スペース・人数)が原因か、ゆっくり食事ができていない様子。食事環境の検討等、ゆっくり食事ができるような働きかけが必要。 ●介助者のエプロンの洗濯回数を増やした方が良い。	●車椅子の大型化に対応する、高さ調節機能のついたテーブルへの更新や落ち着いて食事ができる音楽や雰囲気工夫をする。 ●介助者のエプロンはローテーションさせて毎日洗濯する。
IV 2	入浴	(2) ① 利用者の個人事情への配慮	B		●ハード面の問題だが、車椅子(シャワーチェア)での安全性が疑問。重度化への対応を検討しなければならない。	●シャワーチェアに安全に座れない利用者はストレッチャー浴にて入浴していただいている。どうしても一般浴での入浴にこだわられる利用者はマットなどを使って安全に入浴していただいている。
		② 利用者の希望に沿った入浴	B		●入浴時間に目安があるようだが「もっとゆっくり浸かりたい」という声がある。対応を検討していただきたい。	●利用者の体調や体力も考慮しながら利用者がゆっくり入浴できるよう2月のサービス会議にて職員の対応の統一を確認した。
		③ 浴室・脱衣場の環境	B		●脱衣室において「更衣時に寒い」という声がある。対応を検討していただきたい。	●更衣室での夏の冷房、冬の暖房は利用者によって様々な意見があるが、利用者の反応を見てその都度対応する。
日常生活支援	排泄	(3) ① 排泄介助の快適さ	A		○安全・プライバシーが守られるような配慮がされている。 ○居室での処置交換時の配慮は良い取組である。	○間仕切りやカーテンにてプライバシーを確保している。また、同性介助を行っている。 ○おむつの形状や大きさ、当て方は利用者の状況に合わせて変えている。
		② トイレの清潔さと快適性	B		●利用者状況に応じたトイレの数が適切か疑問である。	●トイレ不足を補うため居室トイレの洋便器化を計画的に行っている。
		(4) ① 利用者の個性や好み、TPOに応じた衣類の選択	A		○個人の好みを尊重した中で、適切なアドバイスが出来ている。	○買い物外出、買い物代行、園内販売など利用者の希望に添って自分で選んでいただけるよう支援している。
日常生活支援	衣類	② 衣服の着替えや汚れへの対応	A		○利用者の希望に応じ、出来る範囲で職員が修繕するなど、配慮されている。	○衣類の着替えや洗濯は利用者の希望により対応している。 ○利用者が着やすいように衣類の修繕は、係を決めて対応している。
		(7) ① 日常の健康管理	A		○日中の看護体制に加え、夜間の待機看護師等、体制が整えられている。	○定期的な内科回診、健康診断、日常的な健康観察により健康管理と疾病の早期発見早期治療に努めている。
		② 必要時に、迅速かつ適切な医療支援	A		○岐北病院と定期往診・緊急時等、連携がとれている。 ○利用者の通院希望に対し、医師との協力の中で必要の有無を丁寧に説明する必要がある。	○利用者の健康観察によって不調があれば時間に関係なくすぐに通院している。精神的な問題を抱えた利用者も多く、安心していただけるように回診時に主治医に説明していただいている。
日常生活支援	健康管理	③ 薬の取り扱いと管理	A		○マニュアルに沿った対応が出来ており、管理への配慮もなされている。	○薬の管理は服薬管理マニュアルに沿って看護師が行っている。 ○配薬ボックスや色分けなど取り違えや飲み忘れがないよう工夫している。

	A	B	C
平成27年度第三者評価結果	8	5	0